

科目名	特殊講義（パブリック・マネジメント）	科目コード	1535	単位数	2
担当者名	島津 望	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

●授業のねらい

戦後日本の社会と経済と、社会保障の関係について、特に医療、福祉、介護の政策の仕組みや現代的課題について考察する。この授業を通して、広く社会問題についてムズから考える能力が身につくようにする。このことを通して、本学のカリキュラム・ポリシーである「自ら課題を発見し解決する能力を身につけること」を目指す。

●到達目標

日本の医療、福祉、介護の制度など、社会的セーフティネットの仕組みを理解できるようになること。これを通して、社会全体を断片的ではなく、総合的にとらえる視点や幅広い教養を身につけることをめざす。

●授業内容

- 1週目 イントロダクション（授業の概要、授業の進め方など）
- 2週目 戦後日本の社会と経済についての概要 社会保障制度の必要性について
- 3週目 都市への人口流入1（戦後の産業政策と雇用）
- 4週目 都市への人口流入2（都市の暮らしと農村の暮らし）
- 5週目 戦後の社会保障政策
- 6週目 戦後の医療政策と国民皆保険制度
- 7週目 戦後の福祉政策
- 8週目 前半のまとめと中間試験
- 9週目 中間試験の講評
- 高度経済成長以降の社会保障政策の概要
- 10週目 地域医療の現状と課題
- 11週目 少子高齢化と社会保障
- 12週目 社会的包摂（ソーシャルインクルージョン）
- 13週目 アメリカの医療制度について
- 14週目 イギリスの医療制度について
- 15週目 後半のまとめと期末試験
- 16週目 期末試験実施できなかった場合は補講授業をおこなう。

●準備学習(予習・復習)等の内容

予め指示したテキストの箇所を読んでくること。予習、復習を合計、週3時間必要とする。  
ディスカッションなどを行なうアクティブラーニングの授業であるので、予習と復習をおこなってきて、意見を表明できる準備をしてくること。

●成績評価の方法・基準

中間試験と期末試験により評価する。

●履修上の留意点

初回から中間試験の間、および中間試験後と期末試験の間に、それぞれ3回以上欠席した場合は、中間試験と期末試験の受験資格を失う。  
2回の遅刻で1回の欠席に換算する。授業中の私語、スマホ操作、その他注意事項を守らない場合は退席させ、その授業は欠席とみなす。

●課題に対するフィードバックの方法

試験のフィードバックは、次の授業において、解説を配布して説明する。採点に疑義がある場合は、その際に申し出ること。

●テキスト

厚生労働省編、『厚生労働省平成23年版』『厚生労働省平成24年版』（厚生労働省のホームページに全文掲載されている）  
（CoursePower上に必要な箇所を抜粋したPDFファイルを掲示するので、予めダウンロードして、印刷し、授業に持参すること）

●参考書

香取照幸著『教養としての社会保障』（東洋経済新報社）1600円

●更新日付

2020/02/25 08:21